



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
 代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
 (コード番号 3864 東証第一部)
 問合せ先
 経理部長 及川 浩典 電話 03-5600-1407
 広報・IR室長 白川 文人 電話 03-5600-1485

繰延税金資産の計上、業績予想及び配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期において、下記のとおり繰延税金資産を計上する予定であります。また、平成 30 年 2 月 6 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の業績予想ならびに未定としておりました期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、平成 30 年 3 月期及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を追加計上することといたしました。

これにより、平成 30 年 3 月期において、法人税等調整額（△は利益）を△19 億円計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 201,000	百万円 1,500	百万円 1,000	百万円 1,500	円 銭 43.88
今回修正予想 (B)	201,000	1,800	650	3,200	93.62
増 減 額 (B-A)	—	300	△350	1,700	
増 減 率 (%)	—	20.0	△35.0	113.3	
平成 29 年 3 月期(実績)	201,955	4,313	2,703	1,152	33.72

(2) 修正の理由

第 4 四半期連結会計期間におきまして為替が円高に推移した影響により、外貨建資産・負債の期末(平成 30 年 3 月末日)時点の為替相場による評価替で為替差損を計上した影響等により、経常利益は前回予想値を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「1. 繰延税金資産の計上について」の記載のとおり、法人税等調整額を計上すること等により、前回予想値を上回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正（復配）

(1) 平成 30 年 3 月期期末配当予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (平成 29 年 5 月 11 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今 回 修 正 予 想	—	—	—	5.00	5.00
当 期 実 績	—	0.00	—		
前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、内部留保を充実させつつ配当比率を安定的に維持することを方針とし、具体的には連結当期経常利益の 20%を基準としております。

当社の配当につきましては、平成 22 年 3 月期から無配を継続しておりましたが、その間、第 1 次及び第 2 次の中期経営計画に基づき、業務基盤・財務基盤の強化等に取り組みました結果、平成 21 年 3 月期以来 9 期ぶりに、1 株当たり 5 円の配当（復配）を実施する予定といたしました。

株主の皆様には長年にわたり多大なご迷惑をお掛けいたしました。これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き収益の向上及び財務体質の強化を図ってまいります。

なお、当社は会社法 459 条の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当を行う旨を定款に定めております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上